

# ブレイン・ストーミング

JSSX President Initiative:

研究智を有する人材育成・自己実現への道



日時: 2007年5月7日(月) 13:00-16:50 (ラウンドテーブル議論)

場所: 東京大学・薬学系研究科 総合研究棟2階講堂

主催: 日本薬物動態学会

委員長: 杉山雄一 (日本薬物動態学会会長)

参加費: 無料 (定員120名)

懇親会費: 一般: 3,000円、学生1,500円

参加申込み締切: 2007年3月31日(土) (定員になり次第締切)

参加申込み: web上にて; <http://www.jssx.org/jp/notice/n0702/n070206.html>

## プログラム

はじめに&議事進行: 杉山雄一(委員長)

話題提供

- 1) 杉山雄一(東大院・薬); SpecialistかGeneralistか?; 智慧の重要性
- 2) 井上正康(大阪市院・医); 進化生物学的鳥瞰図と"知の真空地帯"
- 3) 池田敏彦(三共(株)薬剤動態研); 企業研究者へのメッセージ
- 4) 栗原千絵子(臨床評価刊行会); 焦点を定めた議論をしよう! エンドポイントとプロダクト
- 5) 石川智久(東工大院・生命理工); グローバル時代の研究と自己
- 6) 鈴木洋史(東大病院薬剤部); 臨床への橋渡し研究者を目指すには

ラウンドテーブル議論

懇親会(17:00 - 19:00) 山上会館

## 委員長からお誘いのメッセージ

薬物動態研究者は企業においてもアカデミアにおいても、多様な知識と智慧を持つことが必要な時代となっています。自分で経験し、多くの論文を読み、自分自身で考えめぐることにより体得した事柄のどれだけが頭の中に整理され、必要な時に引き出して、実際の研究、医薬品開発に活かせるかということ、言い換えれば智慧の容量が要求されている時代です。容量の大きい智慧を持つことは容易ではありません。理想的な薬物動態研究者は、アカデミアであれ、企業研究者であれ、"質の高い研究経験を通して深いサイエンスの基盤を持ったうえで、俯瞰的に多くの領域を理解し統合できる研究者である"と思っています。会場の方々と一緒にラウンドテーブルディスカッションを楽しみたいと思います。

<お問合せ>: 日本薬物動態学会・会長主催ブレインストーミング事務局

〒160-0016 東京都新宿区信濃町煉瓦館

(財)国際医学情報センター内 日本薬物動態学会事務局 担当: 西澤

TEL:03-5361-7075 FAX:03-5361-7091 E-mail:jssx@imic.or.jp

